



2024年11月13日

各 位

会 社 名 三菱製紙株式会社
代表者名 代表取締役社長 木坂 隆一
(コード：3864、東証プライム)
問合せ先 企画管理本部 企業戦略部長 山田 大輔
(TEL. 03-5600-1488)

2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績予想（2024年4月1日～2024年9月30日）と本日公表の実績において、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想（2024年4月1日～2024年9月30日）と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 94,000	百万円 2,500	百万円 2,500	百万円 1,500	円 銭 34.19
実 績 値（B）	88,400	934	450	△232	△5.31
増 減 額（B－A）	△5,600	△1,566	△2,050	△1,732	
増 減 率（%）	△6.0	△62.6	△82.0	—	
（ご参考）前年同期実績 （2024年3月期中間期）	96,703	1,995	3,526	1,638	37.45

2. 業績予想と実績値の差異の理由

（1）2025年3月期第2四半期（中間期）の業績予想値と実績値との差異の理由

売上高につきましては、ドイツ経済の低迷による需要減、国内の印刷・情報用紙の需要減少や機能商品の中国需要の減退により販売数量が減少し、業績予想を下回ることとなりました。

営業利益につきましては、コストダウン効果等はあったものの、販売数量の減少や設備事故の影響があり、業績予想を下回ることとなりました。

経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、営業利益の減少に加え、外貨建債権・債務の評価替えにより発生した円高による為替差損の計上があり、業績予想を下回ることとなりました。

3. 2025年3月期通期業績予想について

2025年3月期通期の業績予想について、紙素材事業・情報用紙の価格改定効果及び生産性向上をはじめとする各種コストダウン効果により、当初業績予想の水準の利益を計上できる見通しのため、当初の予想を据え置いております。

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上